



「社会保障の解体は許さない！介護保険制度の抜本改善を！！」
STOP！介護改悪 介護ウェーブ2015推進ニュース
-介護の“Big Wave”を上げよう！-

各地の介護ウェーブ

東京 (東京民医連介護職部会ニュースより) 介護職部会のなみなみならぬ決意！

2015年4月介護報酬の改定があり公称改定率が-2.27%、実質-4.48%と大幅な引き下げになりました。

このままでは、利用者・入居者からも介護職員からも笑顔がなくなる「介護保険制度」にどんどん改悪されていくことが危惧されます。

その改悪を阻止するために再改定を求める、大きな介護ウェーブを起こさなければなにも変わりません。

まずは、介護現場の実態や介護保険制度の現状をいろいろな人に知ってもらう必要があります。

今回は、現状を訴えるチラシ配りを巣鴨で開催します。

『何もしなければ何も変わりません。』利用者のために、今働いている私たち介護職員のために、そして未来の介護職員のために、一緒に大きな介護ウェーブを巻き起こしましょう！

5月14日(木) 14:00~15:00 巣鴨駅前 途中参加もOKです。



石川 家族会グッジョブ！

3月にグループホームの家族会と運営推進会議(2ヶ月に1度の地域、行政、家族を交えての報告・懇談会)を同時開催しました。介護保険制度の改定について説明をすると、

「国は介護をする家族にも従業員にも冷たい！」

「今までがんばって生きてきたお年よりをなぜこのように冷遇するのか」

「特養を増やさないので入る人を制限するなんて極悪だ」

「グループホームは年々重度化しているのにそこは評価されないのか？」などのもっともな意見がでました。

また、今回の報酬はグループホームに関してはほとんど加算がとれず、基本報酬だけが下がったという話をすると、「国はグループホームを大事にしてきた(認知症の方へ手厚くする)というけど、こんなじゃグループホームがつぶれてしまう。そうなったらうちの家族はどうなるんだろう??」と。金沢市の介護保険課の職員も参加していたため、家族ならではの大きな疑問を行政に直接言える大事な場になりました。

家族への説明をもっとたくさんしなくてはいけないということ、行政を交えての話し合いを家族も望んでいることを実感した家族会でした。(石川勤医協 島西)



福島 福島県議会「介護報酬引き下げをしないよう国に求める」請願 自民・公明等の反対で不採択

2月の福島県議会に福島県民医連として「介護報酬の引き下げを行わないよう求める意見書の提出について」の請願を行いました。日本共産党の長谷部淳議員に紹介議員となってもらい、福祉公安委員会にかかりましたが、日本共産党、未来ネット、みどりの風の賛成のみで、不採択となりました。民主県民連合(民主党)からも同内容の請願がありましたが、一致点がとれず、それぞれの提出となりました。今後もあきらめず、一致点をつくりながら新しい請願の準備をしていく予定です。(事務局 佐藤真弓)



5・13 国会行動・介護ウェーブ&5.13 緊急国会内集会

日時: 5月13日(水) 10:30~15:00 (10時受付開始)

場所: 衆議院第1議員会館第会議室 *詳しくは、通達第ア-488号(4月28日付)

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」 事務局: 吉澤・諒佐(すさ)

☎ 03-5842-6451 / fax 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp